

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	日高村農業再生協議会			整理番号	1	
使途名	地域振興作物(3品目)に対する助成					
対象作物	生姜・ピーマン・オクラ（基幹作物）					
単 価	12,000円／10a(上限:12,000円／10a)					
課 題	当地域内での地域振興作物(3品目)は出荷施設も整い、生産・販売面等で高収入が期待できる作物である。しかしながら、地域振興作物の一部では、土壌病害等で栽培不良、品質低下、栽培休止等が発生しており、安定した農産物の供給が行えていない現状である。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	栽培面積	目標	13.6ha	7.8ha	7.8ha	7.8ha
		実績	13.6ha	—	—	—
内 容	助成対象作物の作付けを行う者に対し作付面積に応じて助成					
具体的要件	○対象者 ・出荷や販売を目的として、助成対象作物の作付けを行う者。 ○対象水田 ・水田活用の直接支払交付金の対象水田であって、当該年度に主食用米が作付けされていない水田 ○対象作物 ・出荷、販売することを目的として作付けされた生姜・ピーマン・オクラ(基幹作物) ○その他 ・通常の肥培管理が行われていること					
取組の確認方法	○対象者 ・水田台帳や助成を受けようとする作物に係る出荷、販売を証明する書類等により確認 ○対象水田 ・水田台帳や現地確認により確認 ○対象作物、その他 ・現地確認や助成を受けようとする作物に係る出荷、販売を証明する書類等 ・必要があれば作業日誌等					
成果等の確認方法	・交付対象者面積の集計、比較					
備考	整理番号3と重複可、支援年限は設定していない					

- ※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
- ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
- ※ 令和6年度から新規に設定した目標については、令和5年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	日高村農業再生協議会			整理番号	2	
使途名	小規模多品目栽培に対する助成					
対象作物	きゅうり、キャベツ、かぼちゃ、すいか、アスパラガス、だいこん、なす、ししとう、ほうれんそう、ブロッコリー、小松菜、らっきょう、とうもろこし、みょうが、はくさい、にんにく、ねぎ、にんじん、たまねぎ、ばれいしょ、甘しょ、つくね芋、えんどう豆、いんげん豆、パクチー、レタス					
単 価	5,000円／10a(上限:5,000円／10a)					
課 題	当地域は中山間地域に属し、小規模面積で多品目の野菜を生産する農業者が多数在籍しており、貴重な収入源となっている。しかしながら、農業従事者の高齢化が進み、栽培面積の減少につながっており産地化が十分ではない現状である。中山間地域又は農地を守る為には、農産物を継続して栽培を行えるような支援を行い、収益の向上を図る必要があり、対象とする品目は、高齢者が中山間地域でも栽培がしやすく、また、需要が見込めるものである。また、そのような取組を行うことで栽培面積の維持・拡大に繋げ、次世代を担う農業後継者へ農地の斡旋を行っていく。また、今後目指していく産地づくりを行う為にも一定規模以上の面積を栽培する生産者の維持・拡大を目指していく。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	栽培面積	目標	1.4ha	1.4ha	1.4ha	1.4ha
		実績	1.4ha	—	—	—
内 容	助成対象作物の作付けを行う者に対し作付面積に応じて助成					
具体的要件	○対象者 ・出荷や販売を目的として、助成対象作物の作付けを行う者 ○対象水田 ・水田活用の直接支払交付金の対象水田であって、当該年度に主食用米が作付けされていない水田 ○対象作物 ・上記対象作物(基幹作物) ○その他 ・通常の肥培管理が行われていること ・合計面積2a以上の作付けであること					
取組の確認方法	○対象者 ・水田台帳や助成を受けようとする作物に係る出荷、販売を証明する書類等により確認 ○対象水田 ・水田台帳や現地確認により確認 ○対象作物、その他 ・現地確認や助成を受けようとする作物に係る出荷、販売を証明する書類等 ・必要があれば作業日誌等					
成果等の確認方法	・交付対象者面積の集計、比較					
備考	2021年度以降成果等での品目の選定、支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和6年度から新規に設定した目標については、令和5年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	日高村農業再生協議会				整理番号	3
使途名	担い手加算					
対象作物	生姜・ピーマン・オクラ(基幹作物)					
単 価	10,000円／10a(上限:10,000円／10a)					
課 題	当地域では、農業者の高齢化、後継者不足等により、栽培面積の減少に繋がっている現状である。今後、水田・栽培面積の維持拡大を目指す為には、農地集積等を行い担い手に農地を移行する取り組みを行わなければならない。しかしながら、農地賃貸料等経費の負担等が原因で、面積の拡大に繋がっていない現状である。規模拡大による収益の増に加えて、農地の集約による作業の効率化によりコストの削減を目指す。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	栽培面積	目標	10.8ha (83%)	10.8ha (83%)	10.8ha (83%)	10.8ha (83%)
	(担い手面積率)	実績	10.8ha (83%)	—	—	—
				—	—	—
内 容	助成対象作物の作付けを行う者に対し作付面積に応じて助成					
具体的要件	○対象者 ・出荷販売を目的として、助成対象作物の作付けを行う担い手 ○対象水田 ・水田活用の直接支払交付金の対象水田であって、当該年度に主食用米が作付けされていない水田 ○取組の要件 ・村にて認定された、認定農業者、集落営農組織、農地所有適格法人、人・農地プランの中心経営体に位置付けられる農業者であることが確認できること ・出荷、販売を目的とし、地域振興作物3品目（生姜・ピーマン・オクラ）（基幹作物）を作付けすること ○その他 ・通常の肥培管理が行われていること					
取組の 確認方法	○対象者 ・村にて認定された認定農業者、集落営農組織、農地所有適格法人、人・農地プランの中心経営体に位置付けられる農業者であることを村記帳の台帳等で確認 ○対象水田 ・水田台帳や現地確認により確認 ○取組の要件、その他 ・現地確認や助成を受けようとする作物に係る出荷、販売を証明する書類等 ・必要があれば作業日誌等					
成果等の 確認方法	・交付対象者面積の集計、比較 ・対象作物面積の担い手面積率の集計					
備考	整理番号1と重複可、支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和6年度から新規に設定した目標については、令和5年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	日高村農業再生協議会				整理番号	4
使途名	多収品種(飼料用米)加算に対する助成					
対象作物	飼料用米(多収品種)【基幹作物】					
単 価	6,000円／10a(上限:6,000円／10a)					
課 題	人口減少率が高く、今後米の需要量が大幅に減少することが見込まれる本県において、需給バランスのとれた米生産の為に、主食用米と同様の農業機械、栽培技術で取組可能な飼料用の生産を更に進める必要がある。飼料については海外の輸入に依存しており、情勢の不安定により価格の高騰を招いている。国内自給率の向上・価格の安定を目的に、飼料用米の取組を行い、限られた面積で収量増を目指すためにも多収品種の導入を推進し、生産性向上を図っていく必要がある。しかしながら、多収品種に係る種子経費が主食用米より高額ということ等もあり、多収品種に取組めていない生産者が存在する。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	飼料用米栽培面積	目標	8.8ha	14.0ha	14.0ha	14.0ha
			8.8ha (100%)	14.0ha (100%)	14.0ha (100%)	14.0ha (100%)
	多収品種栽培面積 (多収品種使用面積率)	実績	8.8ha	—	—	—
			8.8ha (100%)	—	—	—
内 容	対象品種(多収品種)の作付け、販売等をする農業者等に対して、作付面積に応じて助成する。					
具体的要件	○対象者 ・出荷・販売目的として、助成対象作物の作付けを行う者 ○対象水田 ・水田活用の直接支払交付金の対象水田 ○対象作物 ・飼料用米(基幹作) ・需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める多収品種(基幹作物) ○その他 ・需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める新規需要米取組計画書の認定を受けていること					
	○対象者 ・交付申請書及び営農計画書 ・新規需要米取組計画書又は新規需要米出荷契約数量等農業者別一覧表 ・自家利用の場合は新規需要米自家加工販売計画書 ○対象水田 ・水田台帳、現地確認 ○対象作物,その他 ・現地確認により確認 ・種子・育苗等の購入伝票又は、自家採取計画書等により確認 ・新規需要米認定結果通知書 ・需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める新規需要米生産集出荷数量一覧表により確認					
成果等の確認方法	・交付対象者面積の集計・比較 ・多収品種使用率の集計(地域全体の飼料用米作付面積と交付対象面積から算出)					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和6年度から新規に設定した目標については、令和5年度の目標の記載は不要です。